

農村負債整理組合法案特別委員會議事速記錄第一號

第六十四回
帝國議會院

規定ヲ少シコチラノ方デ一應、改メル點ヲ
規定シタノデアリマス、第六ハ負債整理組
合ノ負債整理事業ノ遂行ヲ容易ナラシムル
爲ニ、市町村負債整理組合等ニ對シ、負債
整理事業資金ノ特別融通ヲ爲スコトニ致シ
マシタ、而シテ市町村ガ此特別融通ヲ致シ
マシタ結果損失ヲ受ケマシタ時ヘ、其損失
ニ付キ道府縣ガ市町村ニ對シ特別融通總額
ノ三割以内ノ金額ヲ補償スルコトニ致シマ
シタ、又政府ハ道府縣ニ對シ三千萬圓ヲ超
エザル限度ニ於テ、其道府縣ノ補償スル金
額ノ半額ヲ補給スルコトニ致シ、尙ホ道府
縣ノ損失補償金ノ中デ政府カラ補給ヲ受ケ
ザル額ニ付テハ、原則トシテハ市町村ガ其
半額ヲ負擔スル、尤モ特別ノ事由ガアル場
合ニハ、其負擔ノ割合ヲ變更スルコトガ出
來ル、斯ウ云フコトニ致シタノデアリマス、
最後ニ負債整理組合ニ對シ所得稅、營業收
益稅及登録稅ヲ免除スルコトト致シマシタ、
以上ガ本法案ノ要目デゴザイマス、ドウゾ
御審議ノ上御可決ヲ希望イタシテ置キマス
○委員長(子爵野村益三君) 申上ゲマスガ、
大臣ガ暫クハ此方ニ御出ガ適フサウデゴザ
イマス、大綱ニ付テ御質疑ヲ願ヒタイト思

○菅原通敬君　只今御説明ヲ伺フテ其要項
ハ分ツタノデアリマスガ、前年御出シニナッ
タ案トノ違ヒハ、ドウ云フ風ニナッテ居リ
マスカ、ソレヲ知リタイト思ヒマス
○國務大臣(後藤文夫君)　細カイ點ハ又政
府委員カラ、御審議ノ進行ニ連レテ申上ゲ
ルコトニ致シマス、大體ニ於キマシテハ負
債整理組合法案ノ中デ、第三章ニナッテ居
リマスル負債整理事業資金特別融通及損失
補償、此數ヶ條ガ新ニ加ツタノデ、其以外ハ
昨年衆議院ヲ修正デ通過シ、貴族院デ更ニ
衆議院ノ修正ガ修正サレマシタ殘リノ部分
デアリマス、負債整理組合ノ組織、事業、
權能等ニ關スルモノハ去年兩院ヲ其部分ニ
付テハ餘リ異存ナク通過シタモノト殆ド同
ジ案デアリマス、政府ガ最初ニ衆議院ニ提
出イタシマシテ、多少修正ガ加ヘラレタ理
付キマシテ、餘リ大キナ點デハアリマセヌ
ケレドモ、ソレハ略ボ其儘矢張リ貴族院デ
モ其點ハ承認サレタノデアリマス、兩院ガ
昨年略ボ御認メニナッタ部分ハ其儘今度ノ
案デハ採用シタノデ、多少違ツタ所ガアリ
マスガ、多少此方デ考慮シタ點ハゴザイマ
スガ、大體ニ於テ左様ニナッテ居リマス、
左様御承知ヲ願ヒマス

○山岡萬之助君 本案提出ノ理由ニ付キマ
シテハ、只今御説明ノアリマシタヤウニ、
隣保共助ヲ基調トシテ負債整理ヲ爲シ、依
テ經濟ノ更生ヲ圖ラレル、斯ウ云フ風ナ御
説明ヲ承ハリマシタ、誠ニ其御精神ハ結構
ナコトダト思ヒマス、兎ニ角此法案ハ歸ス、
ル所農山漁村ノ經濟更生ヲ圖ラレルニ在ル
次第デ、其行キ道トシテ負債ノ整理ヲ爲ス、
今日農村ハ負債ニ依ツテ生活ノ困難ヲ來シ
テ居ルト云フ次第デアリマス、唯其運用ス
ル所ノ結果ハ今日マデノ負債ヲドノ邊ニカ
緩和シテ行ク、モット言葉ヲ強クスレバ負債
ノ一部ヲ切捨テル、斯ウ云フコトニナリマ
スルノデ、債務ノ棒引デアルトカ、或ハ債
務ノ減額デアルトカ、單純ニ言ヘバサウ云
フコトニ歸スルノデアリマス、是故ニ法治
國ニ於ケル權利思想ノ上カラ申シマスルト、
非常ニ響キノアルコトニナルノデアリマス、
法洽國ニ於テハ申上ゲルマデモナク權利ハ
権利、義務ハ義務、ハッキリト是ハシテ行
クト云フコトガ即チ權利擁護ノ本體デアリ、
又立憲治下ニ於キマシテハ國民ノ責任感
ハ正ニ斯ノ如クナケレバナラヌト思フノデ
アル、法洽國デアリマスル以上ハ何處マデ
モ權利ハ權利トシテナサラナクチヤナラ
ヌ、ソレト同時ニ今日思想ノ問題ガ極メテ

重大ニナリマシテ、其思想問題ノ由テ來ル
根源ハ經濟生活ノ關係ニアリマス、是故ニ
法律生活ト經濟生活トガ能ク調和シテ根本
精神ヲ樹立スルニアラザレバ、我國ノ前途
ト云フモノハ容易ナラザルモノガアルト考
ヘルノデアリマス、其場合ニ當ラテ農林大
臣ガ斯ノ如キ案ヲ制定セラレタコトハ結構
ナコトダト思ヒマス、是故ニ此法案ヲ速ニ
法律ドシテ實施シテ、依テ高キ目的ニ達ス
ルト云フコトハ頗ル同感デアリマスルガ、
唯茲ニ此法案ノ表ニ示ス所ガ農村財政組合
法トスウ云フ法案デ、且ツソコニ動イテ來
マスル主體ハ負債整理組合、斯ウ云フコト
ハ果シテ如何デアルカ、私ハ段々申上ゲタ
ヤウニ、農林大臣ニ於テモ隣保共助ノ精神
ヨリ經濟更生ヲ圖ル、斯ウ云フコトデアリ
マスル以上ハ、寧ロ是ハ農村經濟更生組合、
法律トシテハ農村經濟更生組合法、斯ウ云
フ風ナ意味デ行キマスルナラバ、精神モヨ
ク、ソレガ債務ノ切捨ヲスルト云フヤウナ
コトハ中ニ包マレテ、ノミナラズ農村經濟
ヲ更生シマスルニヘ負債ヲ整理スルダケデ
ハ行カナイコトハ論ヲ俟タナイ、生活ノ改
善ヲシナクテハナラヌ、又整理ヲ合理化シ
ナケレバナラヌ、是故ニ豫算ニ於テモ經濟
更生費トシテ既ニ農林省ニ於テ要求セラ

其金額ガ認メラレテ居ルヤウナ際デアリ
マス、ダカラシテサウ云フ風ニ此負債ヲ整理
シマスルニハ、收支ヲ調節シナケレバナラ
ヌノデアリマスカラ、生活ヲ改善シ、而シ
テ整理ヲ合理化シテ行カネナバラヌ、今一
ツハ其負債整理ノ直接作用トシテ低利資金
ノ融通、斯ウ云フコトニナリマスルカラ、負
債ヲ整理スルト云フコトハ結局低利資金ノ
融通デアッテ、收支ガ償フテ尙ホソレニ向
ケテ行クコトガ出來ルト云フコトガ本當ノ
意味デアリマス、一面カラ申セバ農村低資
融通組合ト云フ氣分デモ宜シイノデアリマ
ス、私ハ此負債ヲ直接ニ茲ニ整理スルト云
フ見出シラシ、且ツ此三條ニ於キマシテモ
債務ノ條件ヲ緩和スルト云フ風ニ此處へ擧
ゲテ來テ居リマス、斯ウ云フ點カラデナク
精神的ニヨク現ハレル方面カラ總テノ法則
ヲ……此法案ヲ立テマスコトガ適當ダト思
フノデアリマス、是故ニ農林大臣ハソレ等
ノ根本精神及ビ今日マデノ法案ヲ、此ニ至
リマスルマデノ間ニサウ云フタコトニ付テ、
何カ議論ノ經過デモアリマシタカ、サウ云
フコトニ何ニモ考ヘナカッタノデアリマス
カ、一應ソレヲ承ハリタイ

査ノ經過ニ於キマシテモ、其點ハ餘程考慮ヲ致シタ所デアリマス、單純ニ農村負債整理ノ法ト云フコトニ致サズニ、農村負債整理組合ト云フコトニシテ、實體ヲ負債整理ヲスル隣保共助ノ力ニ置キマシタノモ、實ハサウ云フ精神カラ出テ居リマス、近年農村ノ負債整理ガ必要デアルト云フコトハ盛ニ唱ヘラレマシテ、ドウモ一氣ニ何十億ト云フ負債ガ一時ニ何カ整理サレルヤウナ方法ガ案出サレルカノ如キ印象ガ世間ニ起ル虞ガアリマス、所ガ御承知ノ如ク農村ノ負債ハ巨額ニ上ボッテ居リマスルガ、其負債ノ中ヲ見マスレバ、色ミノ種類ノ負債ガアル、其原因モ種々雜多デアルノデアリマス、此巨額ノ負債一氣ニ唯一ツノ方法ニ依フテ整理ヲサレ、殊ニ農村負債整理ト云フコトヲ何カ見出シニ書イタヤウナ案が出レバ、其案ニ依フテ一切ノ負債ヲ直ニ整理シ得ルノダト云フヤウナ考ヲ一般ノ人ガ持チマスコトハ非常ニ面白クナイコトデアル、農村ノ負債整理ガソンナニ簡單ニハ實現ノ容易ニ出來ルモノデアリマセヌ、唯併シ此處ニ、他ノ色ミノ事情カラ負債ノ緩和サレル場合ガアリマセウケレドモ、農村ラシキ一つノ方法ガ考ヘラレタノデアリマス、ソレガ詰リ隣保共助ノ精神ニ依フテ、

負債ヲ皆ノ力ヲ合セテ其處デ濟シ崩シテ行
クト云フコトガ、我國ノ農村ニ於テ事實昔
カラ今日マデ色ミノ形デ實行サレテ來タ方
法デアリマス、例ヘバ無盡、賴母子ト云
フヤウナモノデ負債ヲ整理スルト云フコト
ハ廣ク今日行ハレテ居ル、割合ニ優良ナ部
落、優良ナ農村ニ於キマシテハ、矢張リ皆
一緒ニ集マフテ負債ヲ整理スルト云フ一種
ノ私法ガ……殊ニ二宮尊徳ナドノ影響ヲ受
ケタ所ハ非常ニ好イ實例ヲ持ツテ居ル、サウ
云フ人ノ影響デナクテモ、地方ノ篤志家ガア
ルト云フト、サウ云フコトヲヤフテ來テ居
ル、今日ノ農村ノ大體自力更生ノ力ニ要點ヲ
置イテ負債ヲ整理シヤウト云フ考ヲ持チ、サ
矢張リ此隣保共助ノ精神ノ上ニ御互ガ自分
達ノ負債ヲ整理シヤウト云フ考ヲ持チ、サ
ウシテ或程度ニハ御互ニ責任ヲ分フテ行カ
ウ、ソコデ償還計畫ヲ裏付ケル所ノ經濟ノ
更生計畫ト云フヤウナモノヲ、御互ニ相激
勵シ合ツテ實行シテ行ク、或ハ共同ノ仕事デ
實行スルコトモアリマセウシ、一個一個ノ
仕事デ實行スルコトモアリマセウ、實行シ
テ參ツテ、ソコデ負債ノ償還モシ、經濟ノ
更生モシ、將來ノ負債ノ發生ヲモ防ギ、
御話ノ通り此處ニ農村ノ經濟更生ノ一つノ
活動ガ現ハレテ來ルヤウニシタイ、是ハ我ミ

ノ希望スル所ハ、相當ナ數ヲ成ルベク短
カイ期間ニ實現サセタイト思ヒマスガ、實
際ノ結果ガドウ云フ風ニ行クカハマダ今後
ヲ待タオバナラヌノデアリマシテ、豫測ヲ
致スニ過ギナインデアリマス、併シ實例モ
相當ニ我國ノ中ニアルコトデアリマスカラ、
サウ言々タヤウナ形ノモノヲ捉ヘテ負債整
理ノ本體ト致シタイ、デ、此負債整理組合
ハ必ズ經濟更生ノ計畫及實行ノ熱意ト云フ
モノガ伴ッテ、ソレガ負債ノ償還計畫ヲ裏
付ケテ居ル、是ダケノコトハ是ダケノ努力
ニ依フテ此人達ハヤル、從テ又負債ノ償還モ
御互ニ確實ニヤフテ行クノダト云フヤウナ
決心デ、初メテ債權者ノ方トモ……斯ウ云
フ實情デアルカラ、斯ウ云フ風ニ債權債務
ヲ緩和シテ貰ヒタイ、又緩和スル方モ安心
ガ行クシ、同情ヲ持チ得ルト言々タヤウナ
コトデ、此負債理整組合ト云フモノヲヤッテ
行キタイ、御話ノ如ク此負債理整組合ハ負
債ノ償還計畫及經濟更生計畫ヲ背後ニ持ツ
テ居ルト云フコトヲ條件ト致シタイト思ヒ
マス、出來得レバ持ツテ居ルト云フバカリ
デナク、ソレノ實行可能性ガ事實アルト云
フコトマデ大體確メテ、ゾコデ負債理整組
合ト云フモノヲ茲ニ出來上ツタモノト云フ
コトニ致シタイト云フ考ヘデ、大體此立法

ヲ致シテ居リマス、唯御承知ノ如ク昨年來農村負債整理ト云フ問題ガ斯ノ如ク政治問題トナリマシタ、農村負債整理ニ付テノ幾多ノ方法ガ考ヘラレタノデアリマス、低利資金ノ條件、政府低利資金ノ條件緩和等モノ方法モ直接間接ニ之ニ役立ツコトデアラウト考ヘルノデアリマス、其外産業組合中央金庫ノ特別融資ノ問題デアリマストカ、或ハ更ニ農村救濟ノ匡救事業等、色ニナモノガ相綜合シテ農村負債整理ノ一助ニモ相騰貴等モ行ハレマシタシ、ソレガ總テ此負債整理ト云フコトニ直接間接ニ、又程度ノ厚薄ハアリマスルガ役ニ立ツ、一面ニ於テ直接ニ此負債ヲ持テ居ル人達ガ、自分達デ負債ヲ整理シテ行キタイト云フ何カノ方法ト云フモノガ、此方法案トナッテ現ハレタノデアリマス、矢張リ農村負債整理ト云フヤウナ言葉デ現タガ、唯農村負債整理ト云フヤウナ言葉デ現ハスコトハ少シ大キ過ギタ、寧ロ實體ガスウ云フ總テノ組合デヤルノダガ、其組合モ所謂負債整理組合ト云フモノデナクシテ、隣保共助ノ精神ニ立脚シタ組合デアルト云フコトヲ十分ニ立法ノ上ニ明カニシテ、サ

ウ云フモノデ其負債ヲ整理サセル、ソレニ國家及地方團體ガ相當ノ資金上ノ援助ヲ與ヘル、資金上ノ援助モ決シテ負債ヲ肩替リシテヤルト云フ援助デナクシテ、所謂整理ノ出來ルコトニヨコニ詰合ヒノ付イタ負債ノ頭金、一時内入金トデモ云フベキ金ハ、多クノ負債ヲ整理スル場合ニ要リマスルカラ、ソレヲ特別ノ融通ヲシテヤル、斯ウ云フヤウナ仕組ニ致シタ譯デアリマシテ、大體御考ヘノヤウナ精神ニ適合サセマスルト、昨年來ノ問題トナリマシタ事情ニ鑑ミマシテ、形ノ方ハ斯ウ云フ風ナ現ハシ方ノ法案ニ致シタヤウナ譯デアリマス

○山岡萬之助君 大臣ノ御説明デ能ク諒承イタシマシタ、第一條ニ於キマシテ、詰リ此法案ノ主ナルモノハ負債償還計画、經濟更生、是ハ二ツノ大キナ項目トシテ此處ニ譯ハレテ居ル譯デアリマス、是故ニ經濟更生計畫ヲ本體トシテ、ソレヲ遂行シマスルニハ負債ヲ償還スルト云フコトニナル譯デアリマス、寧アルカ、要スルニ此負債整理ノ根本輪廓ニ付テ、計畫ニ付テ一應……

○國務大臣(後藤文夫君) 極ク大綱ニ付テ私ヨリ申上ゲマシテ、細カイ數字ニ瓦リマシタ點ハ政府委員カラ、御尋ガアレバ申上ゲタイト思ヒマス、農村ノ負債ガ現在五十億内外ト言ハレテ居リマス、ハッキリ是ハ見積リハ出來マセヌケレドモ、此負債ノ中デハ或ハ利率ノ點カラ見テ色ニノ相違ガアリマス、又高イモノト安イモノトガダウ云フ法案ガ法律トシテ成立チマンシタ後ノ、具體的ニ動キマスル所ノ計畫ノ極ク大綱デゴザ

ス、今日農村ノ負債ハ先づ五十億、其中ドレケノ程度マデモ整理スベキモノト、手ノ頭金、一時内入金トデモ云フベキ金ハ、多クノ負債ヲ整理スル場合ニ要リマスルカラ、而シテ其資金ヲ償還スルニ付キマシテハ如何ニシテ償還ヲ確保スルノデアルカ、即チ貸シデアリマスル時ニハ都合ノ好イ譯デアリマスガ、農村ノ今日ノ如キ疲弊困憊ノ場合ニ於テ、速ニ償還スルコトガ出來ナイデモ、先づ一定ノ年限据置イテ、而シテ之ヲ償還シナクチヤナラヌ、ソレヲ償還スル場合ニハ、矢張リ如何ナルコトニシテ償還ノ基礎ヲ立て、之ヲ確保サレル御考ヘデアルカ、要スルニ此負債整理ノ根本輪廓ニ付テ、計畫ニ付テ一應……

○國務大臣(後藤文夫君) 極ク大綱ニ付テ云フ方法ノミニ依テ全部整理シ盡サレルト云フ譯ニハ行カヌト思ヒマス、是ハ農村負債整理ノ一つノ様式デアルト考ヘテ居リマス、專ラ今申シタヤウナ範圍ノ所ニ行ハレルノデナイカ、此範圍ノ人ノ負債ガドノ位アルカト云フコトヲ、凡ソ推算シテ見マスト、十七八億ニ上ボルノデナイカ、是モマア大難把ナ推算ニ過ギマセヌケレドモ、此十七八億ノ負債ヲ全部トハマダ見込マナイ、假ニ其半分十億或ハ十一億位、サウ云フモノヲ假ニ整理スルト、斯ウ云フ方法ノ手ニ掛ルモノト致シマスレバ、此法案ニ書イテアリマスヤウニ、負債ノ臨時調停

法等ニ繋フテ行クヤウニ考ヘチ居リマスカラ、臨時調停法ノ是マデノ實行ノ成績ガ自
カラ、此組合ガ負債ヲ債權者ト債務者ノ間
ニ詰合ヲ付ケテ行ク豫メノ輪廓ヲ示シテ居
リマセウシ、又隣保共助ノ精神ヲ發揮サレ
タ所ノ、相當ナ、宜イヤウナ條件ノ詰合モ
出來ルカモ知レマセヌ、此十億前後ノ負債
ガ整理サレル場合ニ、其二割ヲ預金トシテ
考ヘルト、二割位ノモノガ現金デ低利ニ且
ツ長期ノ金トシテ特別融通ヲサレルト云フ
コトニナレバ、何カソコヘ斯ウ云フモノノ
運行ガ出來テ行クヤウニナルノデナイカ、
最モ實行シテ見マセヌト十分ナコトハ分リ
マセヌノデ、我ミノ今ノ見込ミデハ先ヅ整
理スル負債額ノ凡ソ三割位ガ矢張リ此特別
融通ノ資金トシテ供給ヲ要スルノデハナイ
カト云フ見込ミデ居リマス、凡ソ三割特別
融通トシテ必要ダトシマスレバ、茲ニ二億
ノ特別融通ヲスルト云フノガ、今損失補償
其他ノ金融ガ割出サレテ居ル一ツノ基準ニ
ナツテ居ル計畫デアリマスガ、二億ヤリマ
スレバ先づ六億圓位ナ負債ガ、今私ノ申シ
タヤウナ輪廓ヲ申セバ整理サレルノデア
ル、ソレニハ三割ト云フコトニハ出入リモ

小農ノ有、テ居ル負債ノ中デ、相當ナ部分
ガハッキリ幾ラカト云フコトハ一向今申上
ゲ兼不マスルガ、相當ナ部分ガ、誠實ニ負
債整理組合ト云フモノガ出來ルモノデアレ
バ、其方法ニ依、テ整理ノ途ガ立、テ行クノ
デヤナイカ、少クトモ過去ノ負債ニ付テノ
將來ノ整理ノ途ガ立、テ行クノデヤナイカ
ト云フヤウニ考ヘテ居リマス、唯事柄ハ本
當ニ誠實ナ負債整理組合ガ出來ルカ出來ヌ
カト云フコトニ實ハ繫ルト思ヒマス、此點
ニ付テハ十分ナ指導モヤリ、獎勵モ致シテ
行カナケレバナラヌ、唯負債整理組合ノ名
ヲ冠スルモノガ溢立シテ來タト云フダケデ
ハ、決シテ本當ノ負債整理ト云フモノノ實
現ハ出來ナイト思ヒマス、其點ニ出來ル限
リノ用意ヲ以テ臨ム必要ガアル、斯ウ云フ
風ニ考ヘテ居リマス、政府ノ特別融通トシテ
出シマス金ノ計畫ハ二億圓デアリマシテ、
其二億圓ノ金ハ出來ル限り政府ノ低利資金
ノ供給ヲ考ヘタイ、斯ウ云フコトニ相成、テ
居ル譯デゴザイマス

ソレノ機關ヲ督勵シテ、十分ナル監督、指導ニ當ラナケレバナラヌコトハ論ヲ俟タナ
イ次第デゴザイマス、餘程はハシカリ掛リ
於ケル産業組合其他ノ組合ノヤウナ成績ニ
マセヌト云フト、今日マデノ此經濟範圍ニ
ナリマシタナラバ、是ハ非常ニ惡結果ヲ來
スト思フノデアリマス、ソレハ即チ産業組
合ノ如キハ純粹ナ唯經濟組合デアリマスル
ケレドモ、此農村負債整理組合ハ其内面ニ
段々質問應答ガアリマシタヤウニ、國民精
神ニ影響ノアル問題ガ包含セラレテ居ル次
第デアリマス、其點ニ於テ農村負債整理組
合成立ノ曉ニ、其事業方何處カラ見テモ能
ク出來テ居ル、而シテ其事業ノ内容ニ於テ
不都合ノコトガナイ、ココマデ行ク必要方
アルト思ヒマスル、ソコデ其市町村ガ之ニ
關係イタシテ居ル部分モ條文ノ中ニモ二三
現ハレテ居リマスル、尙又此二十五條ニ於
テハ負債整理組合ノ理事、監事等ガ不正行
爲ガアリマスル時ニハ、一年以下ノ懲役其
他ノ刑罰ヲ以テ臨ンデ居リマス、私ハ此負
債整理組合ノ理事等ニ斯ノ如キ刑罰ヲ以テ
臨ンデ置クコトモ必要デアリマスケレド
モ、斯ウ云フヤウナコトデハ是ハ決シテ十
分ナルモノデアルトハ思ハヌノデアリマ
ゞ、無論今日迄ノ金融界ニ於ケル各種ノ機

關ニ於テ、相當強イ刑罰ガ刑法其他ニアルニ拘ラズ、御承知ノ如ク經濟界ニ於テ不正行爲モ可ナリ見出サレテ居ル譯デアリマス、ソコデ此市町村ニ付テハ此法文ニ現ハレテ居ル所ノ効キヲ爲スコトハ勿論デアリマスガ、ソレ以外ニモ尙ホ市町村ヲ督勵シテソレ等ヲ十分ニ援助的ニ活動サセラレル點ニ付テ、ドンナ風ニ御考ヘニナリマスカ、又此負債整理組合事務遂行ニ付テハ、官吏ヲシテ常ニ視察ヲセシメルト云フコトニ付テ何カ特別ナル、今日カラ計畫ガオアリニナリマスカ、即チ其事業ヲ監査スル監査官ト云フモノガ、之ヲ十分ニ視察スルト云フコトガ出來ルト云フ計畫ガ必要ダト思フ私ハ一人デアリマス、要スルニ此事業ヲ監督指導シテ行ク點ニ付テハ大要ヲ伺ヒタ

町村ニ低利資金トシテ融通スル機關カラ、直接融通スルコトニ多クノ場合ニハスルノ
デアリマス、是モ御承知ノ如ク稅務署等ニ
保スルト云フヤウナ點カラ相當ニ監督監視
ガ行ハレルノデハナイカト思フテ居リマス、
其上ニ尙ホ道府縣ニハ此度豫算ヲ以チマ
シテ、是ニ專務ニ當ル人ノ配置ヲ致スト云
フコトニナツテ居リマス、農林主事ト云フ
ヤウナ形ノモノヲ置クコトニ致シテ居リマ
ス、其外農林省、内務省、大藏省等ガ色ニ
ナ點デ總元締ノ監督ニ當ル場合ガ非常ニ多
イコトニナツテ居リマス、從テ道府縣廳共
他ニ於テモ十分ニ一ツ之ヲ監督指導スルコ
トニ致シタイ、尙ホ是ト併セテ農村經濟更
生計畫ノ樹立實行ト云フコトガ、昨年ノ臨
時議會以後力ヲ致シテ居リマス、是ニハ大シ
テ人ヲ具ヘテ居ル譯デハアリマセヌケレド
モ、地方ニモソレ～機關ヲ設ケテ地方ノ
更生ノ運動、引續イテ經濟更生ノ指導、獎勵
ノ運動ガ、直ニ一面カラハ負債整理組合ノ
指導獎勵ニモナリ、又監視ノ働きモシ得ル
ヤウニ相成ル譯ナノデアリマス、役所ノ關
係カラ申シマシテモ、此負債整理組合ノ指

ケデ御説ノ監督指導、獎勵ガ完全ニ行ク
イデハアリマセヌケレドモ、豫算其他ノ關係ニ依リマシテ、先づ今日相當ナ方法ヲ立てテ參フテ居ル積リデ居リマス
○山岡萬之助君　此負債整理ニ付キマシテ
ハ、低利資金ノ融通、財產處分、生活ノ合理化等、又生業ヲ合理化シテ行クト云フヤ
ウナコトガ自然ニ出テ參リマスルガ、其中
デ此財產處分ト云フコトハ可ナリ廣イ範圍
デ行ハルルヤウニナリハセヌカ、即チ擔保
附負債ハ農村ニ於テ過半數デアッテ、二十
何億擔保附ニナツテ居ル譯デアリマス、又
農村ノ實際ヲ見マシテモ、今日デハ相當ナル地主ガ皆負債ニ満チテ居フテ、ドウシテ
モ其財產ヲ處分シナケレバ更生出來ナイヤ
ウナ狀況ニアリマス、從テ此負債整理組合ヲ運用シマス場合ニ、農林省年來ノ目的ト
シテ居リマスル所ノ、自作農ヲ創定シテ行
クト云フコトガ、私ハ一擧兩得ノ立前テ、
凡ソ仕事ヲシマス場合ニハ、各種ノ目的ヲ
達スルコトガ適當デアリマスルコトハ論ヲ
俟タナイ次第デアリマス、ソコデ此本案ノ
中ニモ、第十一條邊リニ小作人其ノ他ノ者
ガ其ノ土地ヲ購入セムトスルトキハ資金ノ
貸付ヲ爲スコトヲ得ト云フ風ニ出來テ居リ

マスルコトハ、ソレ等ノ意ガ含ンデ居ルヤ
ウニ思ヒマスガ、ドウモ此程度デハ到底年
來農林省ノ理想トシテ居ル自作農創定ハ困
難デアラカト私ハ思ヒマス、ソコデ此抵
當證券法ガ先般成立イタシマシタガ、是ハ
ドウモ銀行ノ固定シタル所ノ負債ヲ融通シ
テ、銀行金融、即チ金融界ノ關係ニノミ働
イテ居リ、而モ是ハ大キナ土地ダケニ限ラ
レテ居リマス、デアリマスルカラ此抵當證
券法ト云フモノデハ到底不十分デ、之ヲ農
村ニ實施イタシテ見タ所デ效果ハ、先ヅ私
ハ宜イ成績ハ舉ラヌト思フ、依テデス、
此土地ノ證券化ト云フ制度ヲ立テテ、農村
ノ土地ヲ證券化シテ、其證券ニ依ッテ日本
銀行ニ於テモ、責任ヲ持テル形ニ於テ土地
證券法ヲ制定シ、土地ガ證券化セラレルヤ
ウニナレバ、此負債整理ト竝行シテ、自作
農創定ガ出來、嘗テ立案セラレタル所ノ土
地金庫ノヤウナモノガ出來マセヌデモ、斯
ウ云フ整理事組合ノ場合ニ於テ小作人ガ
自作農トナリ得ル可能性ガ十分ニアルト私
ハ思ヒマスルガ、政府ニ於テハ、ソレ等ノ
點ニ付テ何カ御考ニナツタ點ガアリマセウ
カ、又是レヨリ外ニ御考ヘニナルベキ筋モ
アリマセウカ、一應承ツテ置キタイ

ト云フ場合ニハ、只今ノ御話ノヤウナ土地
證券ノ制度ヲ同時ニ考慮ハ致シマセヌデシ
タ、唯御指摘ニナリマシタ第十一條ノ規定
ハ、御話ノ通リノ趣旨カラ出發イタシテ居
リマス、同ジ組合員ノ中ノ者ガ、擔保ニナッ
テ居ル土地ヲ處分スルト云フ場合、他ノ組
合員ガ欲シイト云フナラバ、成ルベクハ其
者ニ得サセルヤウナ途ヲ茲ニ開イテ置イタ
方ガ宜イノデヤナイカ、負債整理ニ當リマ
シテ、能ク其部落ノ土地ナリ其村ノ土地ガ、
他村ノ者ノ手ニ歸スルト云フヤウナコトガ
是マデハ往々ニシテアルノデアリマスガ、
成ルベクハ其部落ナリ、或ハ其村ノ人ノ手
ニ存シテ置ク方ガ宜イ、ソレノマア聊カノ
途ヲ開イテ見タ譯デ、唯此負債整理組合法
其モノトハ離レテ、農村ノ今日負債ノ整理
テ行ク上ニ於テ、或ハ土地金庫ノ制度デア
ルトカ、或ハ土地證券ノ制度デアルトカ云
フヤウナモノヲ、此法案ヲ立案シマスト同
時ニ、或ハ其前カラ大分色ミ研究ヲ致シマ
シタ、併ナガラ此法案ニ關聯シテ致シマス
ニシテモ、サウ云フ制度ハ又別個ニ廣汎ナ
範圍ヲ包含サセナケレバナリマセヌノデ、
負債整理組合ヲ作、タ場合ニ、負債整理組

合ニ關係ヲ持ツダケノ地所ニ付テノ土地證券ト云フヤウナモノヲ考ヘル譯ニモ參リマセヌ、矢張リ其土地證券ノ制度ナラバ是ハ全般ノ一つノ制度ニナリマス爲ニ、別個ナ考ヘトシテ多少農林當局ノ方デモ攻究イタシマシタシ、大藏省等ドモ豫ネテサウ云フ問題ハ考究サレテ居タヤウデアリマスガ、不動產特融ノ方法ガ立チ、產業組合ノ固定貸ノ融資ノ方法ガ立チマスルシ、次ニ昨年ノヤウナ負債整理組合法案ト云フモノガ出来マスルヤウナコトデ、今細話ノヤウナ點マデハ遂ニ深ク入ラズニ、今日ニ至テ居ルコトナノデアリマス、是ハ將來モ實際問題トシテ考究ヲ致シテ見タイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○山岡萬之助君　此負債整理ノコトハ國家

ノ全體トシテノ極メテ重大ナル問題デアルト思ハレマスルノデ、是故ニ農村ノ疲弊困

憊ヲ救濟イタシマスルコトハ一般ノ問題デ

アリマス、言葉ヲ換ヘレバ公ノ問題ト考ヘ

ナケレバナラヌ筋ト思ヒマス、故ニ此個人

ガ債務ヲ持テ居リマスルノデアリマスル

カラ、個人ガ整理スル考ヘガナイ場合ニ之

ニ干渉スルト云フヤウナコトハ、勿論其性質

上スベキモノデモナイノデアリマセウケ

レドモ、此案ノ立前ハ全ク債務者ノ自由主

券ト云フヤウナモノヲ考ヘル譯ニモ參リマセヌ、矢張リ其土地證券ノ制度ナラバ是ハ全般ノ一つノ制度ニナリマス爲ニ、別個ナ考ヘトシテ多少農林當局ノ方デモ攻究イタシマシタシ、大藏省等ドモ豫ネテサウ云フ問題ハ考究サレテ居タヤウデアリマスガ、不動產特融ノ方法ガ立チ、產業組合ノ固定貸ノ融資ノ方法ガ立チマスルシ、次ニ昨年ノヤウナ負債整理組合法案ト云フモノガ出来マスルヤウナコトデ、今細話ノヤウナ點マデハ遂ニ深ク入ラズニ、今日ニ至テ居ルコトナノデアリマス、是ハ將來モ實際問題トシテ考究ヲ致シテ見タイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○山岡萬之助君　此負債整理ノコトハ國家

ノ全體トシテノ極メテ重大ナル問題デアルト思ハレマスルノデ、是故ニ農村ノ疲弊困

憊ヲ救濟イタシマスルコトハ一般ノ問題デ

アリマス、言葉ヲ換ヘレバ公ノ問題ト考ヘ

ナケレバナラヌ筋ト思ヒマス、故ニ此個人

ガ債務ヲ持テ居リマスルノデアリマスル

カラ、個人ガ整理スル考ヘガナイ場合ニ之

ニ干渉スルト云フヤウナコトハ、勿論其性質

上スベキモノデモナイノデアリマセウケ

レドモ、此案ノ立前ハ全ク債務者ノ自由主

義デ、即チ從來ノ經濟界ニ於ケル全ク自由ナ立前ニ是ハ出來テ居ル、此頃總テノ方面ガ萬事統制ヲ基礎トシテ、全體トシテ物ヲ考ヘルヤウニナッテ居リマスコトハ申ス迄シマシタシ、大藏省等ドモ豫ネテサウ云フ強イ意味デ勸誘デモヤル、勸誘ト言フテハ少シ語弊ガアルガ、生活ノ困難ヲシテ居ル者ヲ之ニ加ヘシメテ、サウシテ良キ結果ヲモナイ譯デアリマス、ソレ等ニ付テハ相當ノヤウナ負債整理組合法案ト云フモノガ出来マスルヤウナコトデ、今細話ノヤウナ點收メシメ、中ニハ本人ノ何ト申シテ宜イカ、色ミノ考ヘカラサウ云フコトニ加入セヌヤウナ、亂暴ヲ言フテ居ルヤウナ者ガナイトハ言ヘナイト思ヒマスガ、兎ニ角一般ノ問題トシテ、全體トシテ之ヲ力強ク加入セシメテ行クト云フヤウナ御考デアルカ、或ハ全ク法文ノ表ニ現ハレタ通り自由ニシテ置ク御考デアリマスカ、一應承ハリタイト思ヒマス

○國務大臣(後藤文夫君)　是ハ申上ゲル迄モゴザイマセヌ、法文デ御承知下サツテ居リマスルヤウニ、立前ハ自由加入ノ立前ニナッテ居リマス、責任ノ制度モ無限責任又ハ

保證責任ト云フ一種ノ連帶ノ責任ヲ持タセルコトニ致シテ居リマス上カラモ、加入ハ

ノ出來ルコトハ、是モ監督指導ノ方法ヲ府

理組合ノ貸付金ニ付テ各擔スルト云フヤウ

スガ、此案ハ昨年來ノ一つノ懸案デアリマス、

本期議會ニハ成ルベク速ニ提出ヲシタイト

難デアル場合ガ多カラウト思ヒマス、矢張リ氣ノ合々タ或區域ノ人達ガヤル、其中ニ一

人二人ドウシテモ入ラナイト云フヤウナコトガ起ルカモ知レマセヌガ、ソレハ成ル

ペク隣保共助ノ精神デ入フテ行クコトニシテ行カセタイ、指道獎勵ハサウ云フ工合ニ

シテ行キタイト思ヒテ居リマス、又半面ニ於

キマシテ極ク一部ノ人達ガ勢ヒニ乘ジテ負

担整理組合ト云フモノヲ作ラウデヤナイ

カ、サウシテ他ノ一部分ノ者ガ贊成セヌニ

ト、サウシテ他ノ一部分ノ者ガ贊成セヌニ

云フ考ヘデ努力ヲシテ參^タノデアリマス、
期ガ遅クナリマシタノデ、御審議ヲ御急ギ
ヲ願フヤウニナ^タコトハ、甚ダ恐縮ニ存
ジテ居ルノデアリマスガ、御覽ノ通り此案
ガ大蔵省ニモ内務省ニモ重大ナ關係ヲ持ッ
テ居リマス、其實行ニ當^タノソレド^ヨ注
意モ相當ニ必要ナノデアリマシテ、政府
内デノ交渉ノ經過ハ此處ニ一々申上^ス兼不
マスルケレドモ、可ナリ各關係ノ方ニ於テ
ソレド^ヨノ立場カラ、十分ニ考慮ヲ遂ゲル
必要ガア^タノデアリマス、其考慮ヲ遂ゲマ
シタ結果今日提出イタシタヤウナ成案ヲ得
ルニ至^タノデアリマス、デ何分ニモ此事
ハ初メテノコトデアリマスノデ、斯ウ云フ
制度ガ今日マデ實行サレテ居ル譯デアリマ
セヌ、僅ニ之ニ類似シタモノヲ求メマスレ
バ産業組合ノ制度デアリマスケレドモ、產
業組合ノ制度ト申シマシテモ、是ハ積極的
ノ色ミノ事業ヲ持^テ居ル制度デアリマス
ガ、是ハ消極的ニ負債ヲ整理スルト云フコ
トヲ目的トシテ茲ニ取りカカル事業デアリ
マス、農林當局ニ於キマシテモ單純ニ負債ヲ整
理スルト云フ考ヘハ持タナイノデ、矢張リ農
村ニ於ケル農村振興的ナ仕事ト關聯サセ
テ、初メテ此負債整理ト云フモノハ完成サ

レルノデアッテ、此負債整理組合ト申シマ
シテモ、只今申上ガマシタヤウニ農村振興
計畫ト云フモノニ關聯ヲ持タセル結果ニ
ナッテ居リマス、マダ何分ニモ初メテノ新シ
イ問題デアリマスノデ、監督指導ノ方法ノ上
ニ付テモ、目下ノトコロ現ニ農村等ガ不景
氣デアッテ、ソレガ爲ニ困難ナ問題デアラウ
ト思ヒマスノデ、政府モ責任ヲ分擔スルヤ
ウナ意味ニ於テ、十分ニ考究ヲ遂ゲル必要
ガアリマスガ、此提出ノ案ガ通レバ差當
テ是ハ鬼モ角實現ヲスルト云フコトニ相成
ル譯デアリマス、是ダケ申上ガテ置キマス
○子爵片桐貞^{かね}君 ソレデハチヨット伺ヒ
マス、是ハ財政方面カラノ折合ヒガ付カナ
カッタノデハナイノデゴザイマセウカ、モッ
ト的確ニ申シマスレバ、二億圓デハ少ナ
イ、農林省ノ關係ニ於テハモウ少シドサリ
欲シイト斯ウ御考ヘデアルノカ、財政當局
モ今日ノ如キ有様デゴザイマスルカラ、此
點デ折合ヒガムヅカシカタノデハナイカ
ト思ヒマスガ……

○國務大臣(後藤文夫君) 是ハ何億圓デ目
的が達成セラレルカト云フ實ハ限度ハアリマ
セヌ、我ミニ若シ希望ヲ言ハセルナラバ、多
ケレバ幾ラデモ多イガ宜イトハ申シマセヌ
三倍ニナリマジテモ實ハ結構デアリマス、
併ナガラ實際ノ場合ニ於テソレダケノ事柄
ハ、此方法デハ中ニ行ヒ得ナイト私ハ思ヒ
マス、唯形ダケ作ッテ、格好バカリノコトヲ
ラレナイノデアリマス、二億圓ノ採資金ガ
アツテヤリマスレバ、此法ノ精神トスルモノ
ヲ本當ニ實現ヲスルト云フ爲ニハ、必シモ
私ハ少イ金デアルヤウニ思ハナイノデアリ
マス、五十億ノ負債ヲ整理スル爲ニ此二億
圓デハ是ハ御話ニナリマセヌ程ノ僅カナ小
サイ金デアリマス、併シ此方法デヤリマス
事柄ヲ誠實ニヤリマスナラバ、是ダケノ二
億圓ノ資金デ以テ、必シモ少イトハ思ヒマ
セヌ、件シ政府ニ於テハ當初三億ト云フヤ
ウナ考ヲ持ッテ居リマシタガ、是ハ損失補償
等ノ關係カラ參リマシタ譯デ、今此二億ト
云フ金ヲ色ニ考究ノ結果相當ナリトシテ出
シタ譯デアリマス

セヌノデ、一二三ヲ擧ゲテ御尋不致シマス、
テ借金ヲスル、借金ノ根本ハ色ミナモノヲ狃
ガ、耕地整理ヲシテ借金ヲシタ場合モアル
シ、又ハ贅澤デ借金ヲシタ場合モアルシ、
ソレカラ又道路ヲ拵ヘタリ、鐵道ノ株ヲ持ツ
テ居ツタリシテ其方ニ使ツタ借金、斯ウ云フ
形ノ變ツタ借金ガ色ミアリマスルガ、是ハ此
組合ニ入ラセル時ニハ、此借金ノ根本ヲ能
ク御調べニナルモノデアリマセウカ、此點
ヲ承ハリタイノデアリマス、ソレカラ其次
ハ此補償スルコトデアリマスルガ、國ガ三分
ノ内、市町村ノ方ハ四分ノ一トシテ
アリマスルガ、此補償ト云フモノハ縣費カ
國費デ出ルノデアラウト思フ、サウシマス
ルト、此案ハ農村ノ負債整理トナツテ居リ
マスルガ、市ノ小商人ガ之ニ加ハルコトガ
出來ルカ出來ヌカト云フコトヲ承ハリタイ
ノデアリマス、市町村デアリマスルカラ
入ツテ居ルヤウニモ思フノデスケレドモ、表
向キハ農村ノ負債整理ト云フコトガ主ニ
ナツテ居リマス、此點モ詳シク御説明ガ願ヒ
タイ、ソレカラ國ナリ縣ナリガ致シマスモ
ノハ、此十四條ニ基イテ見マスルト、ムヅ
カシイモノデ見テモ分リマセヌノデスガ、
十四條ニ無限責任及保證責任ノ二種トス

ル、又其先キニ行キマスルト連帶無限ノ責任トナツテ居リマス、是ダケノ責任ガアルトナルト、無限責任ト云フモノト保證責任ト云フモノト、ドウモ三ツノ責任ガアルヤウニ見エマスガ、此責任ノ所ハドウモ能ク分リマセヌカラ御説明ヲ御願ヒシタイノデア

○國務大臣（後藤文夫君）此責任ハ無限責
任ノモノト保證責任ノモノトノ二種類ニシ
テアルノデアリマス、三通リデハゴザイマ
セヌ、無限責任ヲ負フ組合ト保證責任ヲ負

債務ノ原因ガ色ミデアル時ニ、負債整理組合ヲ作ル時ニ非常ニ工合ノ惡イコトハナイカ、併シ或ハ相當ニ同情スペキ理由カラ負債ヲ生ジテ居ルモノガアルシ、或ハ普段素行ノ亂雜ナ爲ニ負債ヲ生ジタト云フモノモアル、サウ云フモノヲ皆一緒クタニスルノカシナイノカ、其點ハ實際問題トシテハ非常ニムツカシイ問題デアリマス、負債整理組合ヲ設立シテ、ソレニ入ル者ノ任意ニ任セテアリマス點ハ、矢張リサウ云フ個人個人ノ負債ニ付テ、全クモウ將來其負債ヲ返ス見込ミモナイ、不埒ナ原因デ、負債ノ原因モ同情ノ出來ナイ原因デ出來テ居ルモノハ、サウ云フモノハ恐ラク負債組合ノ方ニ

入レナミ方ガ宜イグラウ、矢張リ個人的ノ
信賴、個人的ノ信用ガ全然置ケナイモノノ
ハ、此負債整理組合ニ入ラセナイ、併シソ
レナラバ原因ガ酒飲ミノ爲ニ出來タ負債ノ
モノハ一切入レナミ方ニシタ方ガ宜イノカ
ト云フト、サウハ私ハ考ヘナイ、隨分色ミ
ナ原因デ債務ヲ負ヒマシテモ、其人達ヲ一
緒ニ仲間ニシテ、此償還計畫、農村更正ノ
計畫ヲ、其中デモ實行シテ行キ、負債ヲ濟
シ崩シテ行カウト云フ誠意ガアリマスレバ、
シ崩シテ行カウト云フ誠意ガアリマスレバ、
負債ノ原因ハ面白クナイコトデアッテモ、
ソレガ此整理ヲシテヤラナケレバ、此部落

テ居リマシテ、其場合ニハヤレル譯デアリ
マス

○林平四郎君 サウシマスト、此市ノ中商
工業者、商人ハ之ニ入ラヌノデスナ

○國務大臣(後藤文夫君) 大體市ノ中商工
業ノ、或ハ此負債整理組合ヲ造ル、特別融
資ト云フモノノ中ニハ入ラヌト云フ精神ニ
出來テ居リマス、唯農村漁村ナリ、農民漁
業者ノ中ニ商人等ガ入テ居リマスル場合
ニハ、ソレハ排斥ヲセヌト云フ趣旨デ出來
テ居リマス

市町村ノ負債整理ト云フコトハ、此市ハド
ウナルノデアリマセウカ
○國務大臣(後藤文夫君) 矢張リ農村部落
ガ市ノ中ニ在ル場所ガ隨分アリマスカラ、
是ハ町村全體ノ者ガ皆組合ニ入ラナケレバ
組合ハ出來ナイト云フ趣旨デアリマセヌノ
デ、部落々々モ出來ルモノト考ヘテ、ソ
レヲ前提トシテ出來テ居ルノデアリマスカ
ラ、此法案ハ大キナ市ノ中デモ農村ガ隨分
アル所ガアリマスカラ、サウ云フ意味デ市
ト云フモノガ入ツテ居リマス
○林平四郎君 サウデスカ

テ居ラルルコトハ、大イニ感謝イタス所デアリマス、殊ニ今回多年ノ問題トナツテ居マシタコトニ付テハ大イニ多ト致スノデアリマス、農村ノ疲弊困憊ノ原因ハ人ノ多ク見ル所ガ殆ド一致シテ居リマシテ、ソレハ要スルニ農產物ノ收入ノ極メテ僅少デアルコト、即チ物價下落ノ影響ニ依フテ、農產物ノ收入モ少ナイ、所謂農村ノ負債ノ多クイ、及農村ニ於ケル所ノ公租公課ノ負擔ノ重イ、此三ツガ重大ナル原因ヲナシテ居ルモノト思フノデアリマス、其中ニ在ツテ農產物ノ價格ノ維持ト云フヤウナコトニ付テハ、農林省ニ於テモ既ニ色ニ御施設ニナフテ居ラレル、又農村ノ負債整理ト云フコトニ付テハ、今度ノ法案ニ依フテ又其方策ヲ施サレムトシテ居ル、然ルニ農村ノ負擔ノ過重デアルト云フコトニ關シテハ、マダ御考慮ニナフテ居ラヌヤニ思ハレルノデアリマシテ、是ハ甚ダ私ハ遺憾ト致スノデアリマス、デ今日ノ負債ノ農村ニ重ツテ來タノハ何處ニ在ルカト云フト、租稅公課ニ苦ンデ來タコトガ、一番原因ノ主モナルモノヲ成シテ居ルト思フノデアリマス、勿論農產物ノ價格ノ値下リニ依クタ原因モアリマセウケレドモ、ソレニ致シ

テモ農民ノ支拂フ所ノ公租公課ト云フモノガ餘リ重クナカタナラバ、ソレニ依テ維持シ得ラレタモノデモ、税金ヲ納メル必要カラ借金ヲスル、而モ金利ハナカ／＼高イ、其金利ト云フモノガ重々テ今日ノ負債額ト云フモノノ増加ヲ來スニ至タモノト私ハ思フノデアリマス、私ヘ地方ニ於テ矢張り農業ヲ營ンデ居リマスカラ能ク其實際ノ事實ヲ承知イタシ、又體驗ヲ致シテ居ルノデアリマス、現在農民ノ負擔イタシテ居ル所ノ負債總額ガ五十五億トカ四十五億デアルトカ云フコトヲ言ハレテ居リマスガ、是ハナカ／＼經濟上重大ナル關係ヲ有テ居問題デアルノデアリマス、今回之ガ整理ニ對シ御考ヘニナラレマシタ云フコトハ誠ニ適切ナコトデアリマスガ、段々御説明ヲ伺ヒマスト云フト、其四五十億ノ負債ノ中ノ五億トカ十億ノ負債ノ整理ニ手ヲ染メラレヤウト云フコトデアリマス、是ハ勿論爲サレタ時ノ根元ハ必ズアルニ違ヒアリマセヌガ、農村ノ今日ノ疲弊ハ中小ノ農業ノミニアラズ、寧ロ地主階級ニ於テモ負債ニ苦シニデ居ル者ガ多イノデアリマス、農村ニ於ケル地主階級ト云フ者ノ農村ニ於ケル地位カラ見テ、立場カラ見テ是等ガ負債ニ苦ンデ居ルト云フコトハ、農村ノ經濟ノ上ニ大

ナル影響ヲ及ボシテ行クト云フコトハ、極メテ重大ナル關係ヲ有テ居ルノデアリマス、無論ソレ等ノ負債ト云フモノハ、或ハ特殊銀行ナリ其他カラ融通ヲ受ケテ居ルモノデアリマスカラ、或ハ投機ヲ營ムトカ、或ハ其他事業ニ失敗スルトカ云フヤウナコトハ寧ロ少イノデアリ、多クハ皆租稅公課ニ苦シニ土地ト云フモノヲ擔保ニ入レテ、サウシテ農工ナリ勸銀カラ金ヲ借ルト云フヤウナコトニナラバ、其儘放置シテ置キマシテハ、農トカ云フコトヲ言ハレテ居ルノデアリマス、ソレデアリマスカラ農村ノ負債ノ整理ヲシヤウトルモノヲ、其儘放置シテ置キマシテハ、農村ノ救濟トカ、繁榮トカ云フモノハ到底私ハ望ミヨ達スルコトガ出來ヌト思フノデアリマス、是ハ農林省ノ直接ノ御主管デハ勿論ナイノデアリマスルケレドモ、減ト云フコトヲ圖シテヤルト云フコトガ、先ヅ第一ノ急務デナケレバナラヌト思フノデアリマス、假リニ茲ニ或部分ノ整理ガ行ハレマシテモ、公課公租ト云フモノノ負擔ガ其儘デアリマシタナラバ、將來又更ニ負債ヲシナケレバナラヌト云フコトノ必要ニ迫テ來ル、折角整理シテヤッタモノガ又借金ヲスル、所謂賽ノ河原ノ石ヲ積ムヤウナコトニナルダラウト思ノデアリマス、ドウ云フ御考ヲ御持チニナラバ、其處ヲ伺ヒタイトルカ、其處ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(後藤文夫君) 御話ノ如ク今日農村ノ巨額ナ負債ノ生ジテ居リマスルコトハ、大體ニ於テ今日ノ農村ヲ窮乏ニ陥レテ原因ト云フモノヲ正サナケレバナラヌト思

ノデアリマス、勿論政府トサレテハ一般的ノ稅制ノ整理ヲ行フ、殊ニ農村ノ負擔ヲ輕メテ居ラレルト云フコトハ察スルノデアリマスガ、農民ノ負擔ノ重キコトハ常ニ屢々唱ヘラレテ居ル所デアリマシテ、商工業者ノ負擔ニ比較シテ二倍或ハ三倍以上ノ重キニナラテ居ルト云フコトハ種々ナル調査材料ニ依テモウ確認セラレテ居ル事實デアリマス、左様ニ負擔ノ不均衡ナル、不公平ナルモノヲ、其儘放置シテ置キマシテハ、農村ノ救濟トカ、繁榮トカ云フモノハ到底私ハ望ミヨ達スルコトガ出來ヌト思フノデアリマス、是ハ農林省ノ直接ノ御主管コトヲ考ヘマス時ニ、農村負擔ノ公正ナルモノガ、非常ナ重イ負擔ヲシテ居ルト云フ此事情ハ、爭ハレナイ事實デアルト思ヒマス、デ此農林當局ト致マシテ農村救濟ノ云フコトハ、第一次ニ熱烈ニ希望シタ點デアリマス、併ナガラ御承知ノ通り中央地方ノ財政關係カラ見マシテ、農村ノ土地ノ負擔ヲ公正ナ形ニ引戻スト云フコトハ、他ノ方面ニ又重大ナ影響ヲ及ボスノデアリマス、ドウモ農村ダケノ問題トシテ、直ニ農村限リニ之ヲ解決スルコトハ至難ノ問題デアリマス、從テ中央地方ノ稅制財政ノ改革ト相伴テ、解決ヲシナケレバナラナイト云フヤウナコトニ立至ラテ居ル譯デアリマス、只今稅制度ノ調査ヲ政府部内ニ於テ進行

ス、其原因ヲ除クニ非ザレバ今後ノ農村ノ負債ノ重壓ヲ救フト云フ譯ニハ參ラナイト大體論トシテハ考ヘマス、唯此負債整理組合法ノ如キハ最モ苦シイ負債ノアル部分ニ、相當ナ緩和ヲ與ヘテ行クヤウニ致シタイト云フ希望カラ出テ居リマス、農村ノ今日ノ窮乏ノ原因ヲ考ヘテ見マスルト、土地ノ生產カラ生ズル收得ガ、土地ニ課セラレル各種ノ負擔ト比例ガ取レテ居ラナイ、殊ニ其公租公課ノ點ニ於テ農村ノ土地ト云フニ其公租公課ノ點ニ於テ農村ノ土地ト云フ此事情ハ、爭ハレナイ事實デアルト思ヒマス、デ此農林當局ト致マシテ農村救濟ノ云フコトハ、第一次ニ熱烈ニ希望シタ點デアリマス、併ナガラ御承知ノ通り中央地方ノ財政關係カラ見マシテ、農村ノ土地ノ負擔ヲ公正ナ形ニ引戻スト云フコトハ、他ノ方面ニ又重大ナ影響ヲ及ボスノデアリマス、ドウモ農村ダケノ問題トシテ、直ニ農村限リニ之ヲ解決スルコトハ至難ノ問題デアリマス、從テ中央地方ノ稅制財政ノ改革ト相伴テ、解決ヲシナケレバナラナイト云フヤウナコトニ立至ラテ居ル譯デアリマス、只今稅制度ノ調査ヲ政府部内ニ於テ進行

シテ居リマス其中デハ、十分ニ此地方農村ニ於ケル負擔ノ問題モ考慮セラルコトト考ヘテ居リマス譯デゴザイマス

○菅原通敬君 能ク其點ニ付テハ大ニ感謝イ

慮ヲ拂ハレテ居ルコトニ付テハ大ニ感謝イ

タシマスルガ、御話ノ通り、農村タケノ負

擔ヲ輕減スルト云フヤウナ制度ヲ茲ニ設ケ

ルコトハナカヽ困難デアル、サウ云フコ

トモソレハアリマセウ、アリマセウガ農村

ノ負擔ノ重モナルモノハ何デアルカト云フ

ト、言フ迄モナク地租及其附加税デアルノ

デアリマス、是ガ常ニ農村負擔ノ根柢ヲナ

ス、中心ヲナシテ居ル、彼ノ取得税其他ノ

諸税ノ如キハ、皆地租ヲ根柢トシテ、ソレ

カラ關聯シテ、或ハソレガ標準トナリ基礎

トナツテ、割出サレルヤウナコトニナツテ

居ルノデスカラ、地租輕減ト云フコトガ、一

番地方農村ノ負擔輕減ノ目的ニ適フコトニ

ナト、此營業收益税、例へバ此地租ニ相對

シテ施行サレテ居リマス所ノ營業收益税、

商工業ニ對スル所ノ營業收益税、其負擔關係ノ對照ヲ見マスト、是ハ大藏省ニモ屢々

作ラレテ居リマスガ、非常ナ距リガアルト

云フ顯著ナ事實ガ認メラレテ居ルノデアリ

マス、地租ヲ輕減スルト云フコトヲ茲ニ行

ヒ、サウシテ是ニ對スル附加税ノ負擔ヲ輕減スル、其減ジタモノニ對シテ國庫カラ相

當ナル方法ヲ講ズルト云フヤウナコトニナ

リマスト云フト、私ハ農村負擔輕減ノ目的ニハ大ニ適ハシムルコトガ出來ヤウト思

フノデアリマス、元來地租ト營業收益税ト

云フモノハ、負擔ノ權衡ヲ保タセル爲ニ、アレハ立法セラレタモノデアッタノデアリ

マスガ、段々地租ニ重ク、營業收益税ニ

輕イト云フ結果ヲ馴致スルコトニナリ、其上ニ先年營業收益税ニ於テハ、整理ニ名ヲ

藉リテ巨額ノ輕減ヲ行^タコトモアリマス、其後又地租ニ對シテ多少ノ輕減ヲ行^タコトハアリマスケレドモ、マダ其權衡ハ維持

セラレルコトニナツテ居リマセヌノデアリ

マスカラ、地租ノ負擔ヲ輕減スレバ即チソトハアリマスケレドモ、マダ其權衡ハ維持

セラレルコトニナツテ居リマセヌノデアリ

マスカラ、其點ニ付テハ既ニモウ萬々御承知ノ

コトデアラウト思ヒマス、次デ起ル稅制財政ノ整理ノ場合ニハ、農林大臣ハ其點ニ付テ

カラ、其點ニ付テハ既ニモウ萬々御承知ノ

コトデアラウト思ヒマス、次デ起ル稅制財政ノ整理ノ場合ニハ、農林大臣ハ其點ニ付テ

スル爲ニ、農林大臣初メ御當局ガ非常ナ御

苦心、御經營下サイマスコトハ、眞カラ感謝シテ居リマス、農村トシマシ窮迫ノ匡救ニ付キマシテハ、農村トシマシ

案竝ニ此負債整理案ナルモノハ、議會開會

ノ當初ニ於テ御聲明モアリマシタ譯デゴザ

イマシテ、此法案ノ成立スルコトハ非常ニ

農村トシマシテハ翹望シテ居ル所デアリマ

ス、其他只今菅原サンカラ仰シャツヤウ

ニ、負擔ノ輕減トカ或ハ非常政策ノ樹立ト

カ、或ハ技術員ノ俸給補助トカ云フコトハ、

最モ適切ナル施設トシテ要望シテ居ルノデ

ゴザイマスガ、何分是ハ豫算ヲ伴フコト

ニ、遺憾トスル所デゴザイマシテ、已ムヲ得

ヌ次第ト思ヒマスルガ、ソコデ段々御心配

ニナリマシテ此農村負債整理案ナルモノヲ

御提案ニナリマシテ、其構成ノ御説明ヲ承

ト云フヤウナ感ヲ致シマスト云フコトハ、

斯様ニシマシテ御實施ニナリマスレバ、政

ドモ起^タ時ニハアルノデアリマセウケレ

來ナイヤウナ風ニ、非常ニ穩健ニ出來テ居ル

ヤウニ考ヘマスノデゴザイマスガ、ソレト

同時ニ債務者ノ、整理ヲ受ケル方ノ側カラ

考ヘマスルト、此債務者ト債權者トノ間ニ立^タテ、整理組合ナルモノガ利息ヲ負ケロ

トカ、元金ヲ割引スルトカニナルヤウナ調停ノ奔走ヲ受ケル利益ト、豊富デアル借金

ガ低利資金、其利率ハ或ハ四分五厘カ五分

カ存ジマセヌガ、兎ニ角高利ナモノヨリ安

イニ違ヒアリマセヌ、利率ノ引下ゲヲ受ケル

利益ト、此ニ^タダケト云フヤウニ私ハ見マス

ノデゴザイマスガ、ソコデ此負債整理組合ナルモノガ無限責任ト保證責任ニナツテ居リマ

スノデ、組合員同志ハ隣保共助ノ全ク農村ノ

醇風ニ出發シマシテ、サウ云フ風ニナツテ

來マスレバ誠ニ結構デゴザイマス、今回ノ經濟更生ニ付テ非常ニ指導御獎勵ニナツテ

居リマス所ハソコニアリマスノデ、此實現ニ非常ナ成績ガ現ハレテ、澤山出來ルコト

ナリ又債務者ヲシテ負債ノ償却ヲナシ得ル

ヤウニ致シマスルニハ、今少シ法ノ恩典ガアッタナラバト思フノデアリマス、ソレハ現

ノ補給ト云フコトガザイマス、是ハ低利資金ヲ融通ヲ受ケマシテ、其中地方費デ補給シテ低イ三分トカ二分トカ云フヤウナ利子デ、自作農創定ノ資金ヲ貸シテ居リマス、何ヲ申シマシテモ此負擔ノ重イノト、又農產物ノ價格ノ下落ニ依リマシテ經濟ガ全クト窮迫イタシテ居リマシテ、其元金ヲ済スコトガ容易デナイノデゴザイマスカラ、利息マデ附ケテ之ヲ償却スルト云フコトハ餘程至難ナ現狀ニ今陥ラテ居ル、サウ云フ事情デアリマスカラ、低利資金ノ安イ利子ト雖モ元金ニソレガオブサツ行クト云フコトハ、債務者ノ立場カラ言ヒマスト、尙ホ非常ナ苦痛ガアリマスノデ、此負債整理組合ナルモノヲ實效ノアルヤウニサシメルニハ、今少シ獎勵ノ意味デ利子ノ補給デモシテヤルト云フヤウナ方法ガアッタラバト思フノデゴザイマスガ、ソレ等ニ付キマシテ御當局ニ於キマシテハ、別段御考究ニナツタコトモナイノデアリマスカ、又サウ云フコトハ今日ノ財政デハ到底至難デアルト云フ風ニ御考ヘニナツテ居リマスルノカ、其點ヲツボテ置キタイト思ヒマス

○國務大臣(後藤文夫君) 御承知ノ如ク此法案ハ、昨年資金關係ノコトヲ法律ノ中ニ一切設ケマセズニ提出サレテ居ラタノデア

リマス、勿論昨年ニ於キマシテモ低利資金ヲ融通シヤウト云フ考へハ有ツテ居リマシタ、別ニ此低利資金ヲ融通シタ結果、其貸付ノ主體ニナツタ團體ニ損失ガ生ジタ場合、補償ヲシテヤラウト云フ制度ハ無論考ヘテ居ラナカツタノデアリマス、デ勿論此負債整理ノ爲ニ用ヒラレル資金ハ、出來ル限り低利ナモノデアルコトヲ必要トシマス、又成ルベク長期デアルコトガ宜シイノデアリマス、出來ルダケノ低利、長期ノモノヲ得タイト考ヘテ居リマス、併ナガラ無利息ノアリマスルケレドモ、今ノ計畫ニ基キマス

○委員長(子爵野村益三君) 如何デゴザイルニ致シマシテモ相當ナ巨額デアリマス、之ヲ長期ニ亘ラテ無利息ノ金デ貸スト云フコトハ、是ハ若シ國庫ガ負擔ヲ致スト云フコトニナルト容易ナラヌコトデアリマス、整理ヲスル側カラ申シマスレバ無利息ノ金ハ結構デアリマスルシ、更ニ負債ノ一部ヲ金デ以テ補助シテ吳レレバ更ニ結構デアリマス、矢張リ法案ノ立前デ、御承知ヲ願シテ居リマスヤウニ、自力更生ノ精神デ負債整理ヲヤフテ行クコトヲ基調ト致シテ居リマスカラ、其處ヘ何程カノ刺戟ト水口ヲ付ケテ、サウシテソコニ自力更生、隣保共助ト云フ觀念ヲ喚起ス云フコト、之ヲ以

テ國家トシテハ満足スル外ナインデアリマス、ソレ以上モ債務ヲ整理サレル側カラ言ヘバ結構ナコトデアッテ、國家全體カラ言フト果シテ害ヲ爲サナイモノデアルカト云素ナイト限度ニ於テ何程カ資シタイシムゾカシイ相談ナンデアリマスガ、便宜ヲ與ヘルト云フ方法ヲ以テ矢張リ斯ウ云フ立前デ行クコトヲ負債整理ノ方法トシナケレバナラヌト思ヒマス、利子ヲ補給ヲスルトカ何ト云フコト迄ハ考ヘテ居ラナイ譯デアリマス

○政府委員(齋藤隆夫君) 御説ノ如ク此案ニ依リマスルト云フト、特別融資金ガ二億萬圓ト云フコトニナツテ居リマシテ、其中ノ十分ノ三、即チ六千萬圓、此中ノ半額ノ三千萬圓ハ政府ノ方ニ於テ損失ヲ負擔シ、殘リノ三千萬圓ノ中ノ半分ハ道府縣、半分ハ市町村ガ負擔スルト云フコトニナルノデアリマス、近時地方財政ハ非常ニ困難ニナリマス、市町村ガ負擔スルト云フコトニナツテ居リマシテ、果シテサウ云フ負擔ヲバ地方自治體ニ課スルコトガ出來ルカト云フコトニ付キマシテハ、本案ノ編成ニ付キマシテハ内務省方面ニ於キマシテハ色ニ考ヘマシタノデアリマス、併シ此法案全體ヲ通じテ見マスルト云フト、一般農山漁村ノ疲弊ヲバ救濟スルト云フ、國家全體ノ上カラ立テラレタモノデアリマシテ、ドウモ此法案ニ付テ地方自治體ガ幾分ノ損失ヲ補償スルト云フガ爲ニ、此案ニ反對ヲスルト云フノ

下ニ於ケル市町村ハ舉ゲテ特別町村ノ取扱ヲ受ケテ居ルト云フコトヲ聞イテ居リマスガ、義務教育費ノ國庫負擔ノ最高限度ノ恩典ヲ受ケテ居ルガ如キ地方町村ガ、果シテ斯ノ如キ負擔ニ應ジ得ルヤ否ヤ、此點ガ甚ダ私疑問ト考ヘマスノデ、内務當局ハドウ云フ風ニ御考ヘニナリマスカ、先ツ其點ヲ

ス、ノ如キ負擔ニ應ジ得ルヤ否ヤ、此點ガ甚ダ私疑問ト考ヘニナリマスカ、先ツ其點ヲ

モ出来ヌノデアリマシテ、仰セノヤウナ市
町村ノ負擔ヲ付キマシテハ、此法案ヲ實施
コトニナリマシテ、内務省ノ方面ニ於キマ
シテモ此案ニ同意ヲスルコトニナッタノデ
アリマス、併シ一面市町村ニ於キマシテ
モ、殊ニ地方ノ町村ニ於キマシテハ非常ニ
困^フテ居リマスカラシテ、實施スルニ付キマ

シテハ成ルベクサウ云フ方面ニ付キマシテ
ハ、相當ニ實施ニ當リマシテ適宜ノ處置ヲ
執ラナケレバナラヌト考へテ居リマス、サ
ウ云フコトデ此案ニ同意ヲシタヤウナ譯ナ
ンデアリマス

○子爵舟橋清賢君 サウスルト、大體市町
村ニ於テ融通ヲ受ケテモ其損失ヲ負擔シ、
償還スルコトハナカ^ノ困難デアル、左様
ニ我ミハ考ヘマスガ、其點ハドウデアリマ
セウカ

○政府委員(齋藤隆夫君) ソレハ併シ實際
問題ト致シマシテ、絶對ニ償還スルコトガ
出來ナイヤウナ市町村ニハ、ドウモ融通ヲ
スルコトガ出來ヌヤウニナルカモ分リマセ
ヌ、ソレハ其法律ヲ施行スル當局ガ諸般ノ
事情ヲ考察イタシマシテ、サウシテ誤リノ
ナイヤウニ致シマス、詰リ此法案ハ部落體
ニナッテ居リマス、部落ガ組合ヲ作りマシテ

ガ出來ヌヤウニ考ヘマス、ソレハ一方ニ於
キマシテハ所謂自力更生ト云フコトデ何ト
カ此負債償還方法ガ立チマシテ、ソレカラ
デナイト金ヲ貸セルコトガ出來ヌヤウニナ
ルト思ヒマス

○子爵舟橋清賢君 サウスルト現在財政上
最モ疲弊困憊ラシテ居ル町村、言換ヘレバ
此法律ノ施行ニ依^フテ眞^ツ先ニ救濟ヲ要スル
ガ如キ地方ニ於キマシテハ、實際上損失ノ
負擔ガナシ得ル見込ガナイ、サウ云フ風ナ
實際上ノ支障ニ依^フテ、此法案ノ恩惠ヲ受ケ
ルコトガ困難ニナル、サウ云フ結果ニナル
虞ガアルヤウニ考ヘマスガ、當局ノ御意見
ハ如何デアリマスカ

○政府委員(齋藤隆夫君) 御承知ノ通り、
此法案デ市町村ガ負擔イタシマスルノハ、
千五百萬圓以内デゴザイマスルガ、大體六
千バカリ市町村ガアリマスルノデ、平均イ
タシマスル二千五百圓以内デアリマスル
カラシテ、先ツ一町村デソレ位ナ負擔ナラ
バ、サウ困^フテ辨償スルコトガ出來ナイト
云フヤウナ狀態ニ立至ルマイト思^フテ、此計

於キマシテハ千圓、二千圓ノ金ニモ困ル所
ドウモ償還スルコトガ出來ヌト云フヤウナ
所ニ於キマシテハ、ドウモ金ヲ貸セルコト
ガ出來ヌヤウニ考ヘマス、ソレモ一時ニ出
カ此負債償還方法ガ立チマシテ、ソレカラ
デナイト金ヲ貸セルコトガ出來ヌヤウニナ
ルト思ヒマス

○委員長(子爵野村益三君) 外ニ御質疑ハ
ゴザイマセヌカ……ソレデハ今日ハ此位ニ
致シマシテ、月曜、十時カラ御勉強ヲ願フ
コトニ致シマス、散會イタシマス

○子爵舟橋清賢君 私ハ本日ハ是ダケニ致
シテ置キマス

○委員長(子爵野村益三君) 外ニ御質疑ハ
ゴザイマセヌカ……ソレデハ今日ハ此位ニ
致シマシテ、月曜、十時カラ御勉強ヲ願フ
コトニ致シマス、散會イタシマス

出席者左ノ如シ

委員長	子爵野村 益三君	農林書記官	井野 碩哉君
副委員長	男爵藤村 義朗君	農林省經濟更生部長	小平 権一君
委員	侯爵松平 康昌君	大藏政務次官	堀切善兵衛君
	伯爵黒木 三次君	内務政務次官	岩田 宙造君
	子爵片桐 貞央君	農林大臣	後藤 文夫君
	子爵舟橋 清賢君	上松 泰造君	
	水上長次郎君		
	男爵平野 長祥君		
	男爵足立 豊君		
	山岡萬之助君		

昭和八年三月二十日印刷

昭和八年三月二十一日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局